

【留意事項】

- (1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。
 ※1 1回線送電線(1バンク運用)のため1回線(1バンク)設備容量を記載
 ※2 3回線送電線(3バンク運用)のため1回線(1バンク)故障時を考慮し2回線(2バンク)分の容量を記載
 ※3 1回線(1バンク)故障時の電源抑制や系統切替を前提に時間を限定して使用できる設計上の熱容量を考慮
 ※4 ループ系統構成(電源線を含む)を考慮
 ※5 2回線(100%×2)で運用しており、1回線停止時は北海道本州間連系設備(以下、北本連系設備)も1回線停止となり、北本連系設備の1回線設備容量以上の潮流が流れない設備構成としていることから、運用容量は2回線の設備容量としております。
- (2) 空容量は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。
- (3) 原則として熱容量に基づく空容量を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可否が変更となる場合があります。適用不可の場合の理由は以下のとおりです。
 #1 基幹系ループ系統のため
 #2 1回線送電線のため
 #3 配電用変電所のため(高圧電源の系統連系の場合、N-1電制は対象外となります。)
 #4 安定度制約のため(制約が確認できているもの)
 #5 2回線(100%×2)で運用しているため
- (5) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能量が変更となる場合があります。なお、高圧系統に接続される電源の場合、N-1電制は対象外となります。
- (6) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。
- (7) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。
- (8) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開していません。
- (9) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	備考
							当該設備	上位系等考慮			
2	道央北幹線	275	2	3,618	1,809	熱容量	1352	500	不可 #1	—	
4	道央西幹線	275	2	2,712	1,356	熱容量	1017	1017	不可 #1	—	
5	泊幹線	275	2	—	—	熱容量	871	871	—	—	◇
6	後志幹線	275	2	—	—	熱容量	1266	1266	—	—	◇
7	後志幹線	275	2	3,154	1,577	熱容量	636	636	不可 #1	—	
8	京極幹線	275	2	—	—	熱容量	304	304	—	—	◇
9	道央南幹線	275	2	2,394	1,197	熱容量	765	600	不可 #1	—	
10	南早来線	275	2	—	—	熱容量	541	541	—	—	◇
11	苫東厚真線	275	2	—	—	熱容量	506	506	—	—	◇
12	道央東幹線	275	2	3,784	1,892	熱容量	1231	500	不可 #1	—	
13	石狩火力幹線	275	2	—	—	熱容量	457	457	—	—	◇
21	苗穂北線	187	2	1,278	639	熱容量	639	639	可	100	
22	篠路線	187	2	1,278	639	熱容量	639	639	不可 #1	—	
23	西札幌線	187	2	552	276	熱容量	179	179	不可 #1	—	
24	室蘭西幹線	187	2	970	558	熱容量	0	0	不可 #1	—	※3 ※4
25	室蘭西幹線	187	2	598	555	熱容量	0	0	不可 #1	—	※3 ※4
26	室蘭西幹線	187	2	684	478	熱容量	0	0	不可 #1	—	※3 ※4
27	室蘭西幹線	187	2	684	368	熱容量	0	0	不可 #1	—	※3 ※4
28	南九条線	187	3	641	427	熱容量	427	427	可	100	※2
29	西小樽線	187	2	598	299	熱容量	267	267	可	100	
30	双葉幹線	187	2	434	217	熱容量	105	0	不可 #1	—	
31	胆振幹線	187	2	—	—	熱容量	0	0	—	—	◇
32	他社線	187	2	—	—	熱容量	146	0	—	—	◇
33	室蘭東幹線	187	2	366	288	熱容量	0	0	不可 #1	—	※3 ※4
34	苫小牧火力線	187	2	802	401	熱容量	143	0	不可 #1	—	
35	勇払線	187	2	1,122	561	熱容量	44	0	不可 #1	—	
36	追分線	187	2	1,070	611	熱容量	153	0	不可 #1	—	※3 ※4
37	他社線	187	2	1,070	596	熱容量	225	225	不可 #1	—	※3 ※4
38	他社線	187	2	1,070	535	熱容量	225	225	不可 #1	—	
39	南札幌幹線	187	2	736	368	熱容量	193	193	不可 #1	—	
40	北江別線	187	2	1,650	825	熱容量	661	661	不可 #1	—	
51	道南幹線	275	2	1,466	733	熱容量	0	0	不可 #1	—	
52	北斗幹線	275	2	2,128	1,064	熱容量	434	0	不可 #1	—	
53	他社線	187	2	—	—	熱容量	203	0	—	—	◇
54	知内線	187	2	1,476	738	熱容量	0	0	可	100	
55	他社線	187	2	—	—	熱容量	184	0	—	—	◇
56	大野線	187	2	942	611	熱容量	0	0	不可 #1	—	※3 ※4
57	函館幹線	187	2	394	197	熱容量	0	0	不可 #1	—	
58	函館幹線	187	2	394	197	熱容量	0	0	不可 #1	—	
59	今金中里支線	187	1	—	—	熱容量	147	0	—	—	◇
61	道北幹線	187	2	766	383	熱容量	24	0	不可 #1	—	
62	旭川南線	187	2	434	217	熱容量	166	0	可	100	
63	名寄幹線	187	2	338	169	熱容量	0	0	不可 #4	—	
64	名寄幹線	187	2	338	169	熱容量	0	0	不可 #1	—	
65	旭川幹線	187	2	390	213	熱容量	33	0	不可 #1	—	※3 ※4
66	滝川幹線	187	2	640	320	熱容量	0	0	不可 #1	—	
67	奈井江幹線	187	2	552	276	熱容量	0	0	不可 #1	—	
71	狩勝幹線	275	2	1,898	949	熱容量	466	0	不可 #1	—	
73	他社線	187	2	394	197	熱容量	0	0	不可 #1	—	
74	日勝幹線	187	2	664	332	熱容量	155	0	不可 #1	—	
75	日勝幹線	187	2	664	332	熱容量	160	0	不可 #1	—	
76	日勝幹線	187	2	—	—	熱容量	0	0	—	—	◇
77	奥沙流支線	187	1	—	—	熱容量	15	0	—	—	◇
78	奥新冠線	187	1	—	—	熱容量	16	0	—	—	◇
79	奥新冠線	187	1	276	276	熱容量	60	0	不可 #2	—	※1
80	奥新冠線	187	1	276	276	熱容量	71	0	不可 #2	—	※1
81	下新冠支線	187	1	—	—	熱容量	25	0	—	—	◇
82	高見線	187	2	524	262	熱容量	0	0	可	100	
83	高見線	187	2	524	262	熱容量	41	0	可	100	
84	高見線	187	2	—	—	熱容量	62	0	—	—	◇
85	春別支線	187	1	184	184	熱容量	64	0	不可 #2	—	※1
86	静内線	187	1	122	122	熱容量	31	0	不可 #2	—	※1

系統空容量一覧表(187kV以上)

87	東の沢支線	187	1	—	—	熱容量	39	0	—	—	◇
89	日高幹線	187	1	237	237	熱容量	0	0	不可 #2	—	※1 ※4
91	富村線	187	1	122	122	熱容量	41	0	不可 #2	—	※1
92	富村線	187	1	—	—	熱容量	19	0	—	—	◇
94	上十勝支線	187	1	—	—	熱容量	20	0	—	—	◇
101	岩松西線	187	2	394	197	熱容量	132	0	可	100	
102	西音更線	187	2	546	273	熱容量	194	0	可	100	
103	道東幹線	187	2	578	289	熱容量	19	0	不可 #1	—	
104	釧路北線	187	2	552	276	熱容量	1	0	可	100	
105	西春別線	187	2	250	125	熱容量	36	0	可	100	
106	釧路幹線	187	2	286	143	熱容量	58	0	不可 #1	—	
107	北見東線	187	2	338	169	熱容量	126	0	可	100	
108	他社線	187	1	—	—	熱容量	20	0	—	—	◇
109	他社線	187	1	197	197	熱容量	14	0	不可 #2	—	※1
110	他社線	187	1	197	197	熱容量	0	0	不可 #2	—	※1
111	他社線	187	1	197	197	熱容量	4	0	不可 #2	—	※1
112	他社線	187	1	197	197	熱容量	0	0	不可 #2	—	※1
113	北見幹線	187	2	394	197	熱容量	123	0	可	100	
114	他社線	187	1	—	—	熱容量	20	0	—	—	◇
115	他社線	187	2	394	197	熱容量	0	0	不可 #1	—	
120	北本七飯線	187	2	714	714	熱容量	0	0	不可 #5	—	※5

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮			
1	西当別変電所	275	187	3	1,800	1200	熱容量	500	500	不可 #1	—	※2
3	西野変電所	275	187	3	1,800	1200	熱容量	1100	1100	不可 #1	—	※2
72	北新得変電所	275	187	2	900	450	熱容量	0	0	不可 #1	—	
116	南早来変電所	275	187	2	1,200	600	熱容量	600	0	不可 #1	—	
117	大野変電所	275	187	2	900	450	熱容量	0	0	不可 #1	—	
88	東の沢発電所	6.6	6.6	1	1.5	1.5	熱容量	1	0	不可 #3	—	※1
93	富村発電所	11	6.6	1	1	1	熱容量	1	0	不可 #3	—	※1